

広報 なかやま

Vol.5

I アイラブ

中山



おごそ みこ
厳かな巫女の舞(芸文祭)
(15ページに関連記事)

今月の主な内容

本を探しに出かけよう P2~8
お知らせ版 P18~25

2016
12 平成28年
No.747

町の魅力を再発見！

中山町には、魅力的な場所やもっと知って欲しい良いモノなどがたくさんあります。このコーナーでは、そんなまちの魅力をお知らせしていきます。

すももワイン

(右) すもものワイン (ソルダム)

アルコール度数10%。甘みを抑え酸味が強い
ため、様々な食事に合わせることができる
そうです。

(左) すももスパークリングワイン (大石早生)

アルコール度数6%。酸味と甘みのバラン
スが高く、アルコール度数も通常のワインと
比較して低いため、普段あまりお酒を飲まな
い方にもおすすめのこと。

このほか、大石早生と秋姫のすももワイン
も好評発売中です。町情報・物産館 **ひん**
ほか、町内の商店等でお買い求めいただけます。

気分やシーンに合わせ、ワインを楽しんでみませんか
今年新酒として発表された2本のほか、すもものワイン(大石
早生)、すもものワイン(秋姫)もあり、計4種のすももワイン
が販売されています。
年末年始はクリ
スマスや忘年会な
どで飲酒の機会が
多くなります。気
分やシーンに合わ
せ、様々なワイン
を楽しんでみては
いかがでしょうか。



おしんすももの会
会長 鈴木徹雄さん

「今年おいしいすももがで
きました。ワインもぜひ期待して
ください。甘み・酸味を活かし
たすっきりとした味で、お酒の
苦手な方にもおすすめです」

今年も新酒ができました
中山町の特産品すももを全国に発
信しようと、加工品の開発に取り組
んでいる「おしんすももの会」(鈴
木徹雄会長・平成18年4月発足)が
企画・開発した「すもものワイン」
と「すももスパークリングワイン」
の新酒が完成しました。
「すもものワイン」は、今年7月
下旬から8月にかけて収穫されたソ
ルダムを原料に、また、「すももス
パークリングワイン」は今年7月に
収穫された大石早生を原料にしてお
り、フランス産の赤ワイン「ボージョ
レ・ヌーボー」の解凍に合わせ、
11月17日から販売が開始されました。
11月14日には、マスコミ各社に向
け新酒発表会が行われ、鈴木会長は
じめ関係者が出席し、「すももを使っ
て、多くの方に飲んでほしい」とPR
を行いました。



スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

広報
なかやま
(毎月15日発行)

お知らせ版
NAKAYAMA TOWN INFORMATION
(毎月1日・15日発行)

平成28年12月15日号

「広報なかやま」「お知らせ版」の文字書体は誰にでも読みやすいユニバーサル書体を使用しています
発行 中山町 〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地
編集 政策推進課地域情報グループ
電話 (023)662-2223 (直通) FAX (023)662-5176
中山町公式ホームページ <http://www.town.nakayama.yamagata.jp>
「広報なかやま」「お知らせ版」はホームページでもご覧になれます

ご意見用メールアドレス
joho@town.nakayama.yamagata.jp
こちらのQRコードからも取得できます。



re60
古紙・パルプ配合率100%再生紙を使用
この広報紙は
再生紙・植物油インキを使用しています。



本を探しに出かけよう

あなたは最近、読書をしていますか。

子どもにとっての読書は、知識を増やすだけでなく、豊かな感性や想像力を育む上で欠かせないものです。また、生きる力として必要な、自ら課題を捉え、考え、判断し、それらを表現する力も育みます。

大人にとっては、様々な情報を取り入れ、視野を広げる手段の一つです。読書を積み重ねることで様々な知識が蓄積されていき、ふとした時にその知識をもとにしたアイデアが浮かんできて、プライベートだけでなくビジネスの場面でも生かすことができるかもしれません。また、忙しい日常の中で、本と向き合う時間がストレス解消方法の一つになるのではないのでしょうか。

このように、人生を通して読書の果たす役割は極めて重要です。しかしながら、今日はテレビや

ゲームなど、子どもたちが夢中になるものが溢れており、また、インターネットから簡単にさまざまな情報が入手できるようになったことから、子どもの読書離れや活字離れが懸念されています。

「中山町子ども読書活動推進計画」を策定

町では、子どもたちが読書に親しみ、読書の習慣を身に付けることができる環境づくりを推進するため、平成26年に「中山町子ども読書活動推進計画」を策定しました。

この計画では、子どもの読書習慣は日常生活の中で身に付くものであり、家庭環境や身近にいる大人の読書習慣が大きく影響することから、読書環境の整備には、家庭を取り巻く地域や学校、何よりも日々子どもと接している大人の関わり方が重要であるとしています。

具体的な取り組み

この計画に基づき、町では、家庭・地域・行政・学校が連携して子どもの読書活動を支援し、町全体で読書に親しむことのできる体制づくりに取り組んでいます。

具体的な施策として、乳幼児のためのブックスタート事業や、各校PTAと連携した「親子読書の日」の啓発・推進などがあります。

また、計画の対象は0歳から18歳としていますが、前述のとおり年齢に関係なく読書の果たす役割は重要であるため、一般の方や高齢者の方にも読書に親しんでいただけの場をつくっています（これらの取り組みについて、主なものを4・5ページで紹介しています）。

ほんわ館を活用しましょう

読書に親しむために積極的に利用していただきたいのが、町立図書館ほんわ館です。

ほんわ館には、5万1605冊もの蔵書があります（平成28年11月末現在）。また、毎月250冊前後の新刊図書が入荷され、そのジャンルは文学や歴史、芸術、絵

本などさまざま。大型絵本や大きい活字の本も取りそろえています。もちろん、どなたでも利用することができま

す。

「図書館は静かにするところ。小さい子どもがいるから図書館には行けない」と思っていますか。他の利用者の迷惑になるような行為はいけません。ほんわ館の児童書コーナーでは、話すことを禁止していません。気になった本は、その場でお子さんに読み聞かせをしてあげること

もできます。また、ほんわ館は、単に本を貸し借りするだけの場所ではありません。ほんわ館を主会場に「ほんわ館まつり」などのイベントや「おはなし会」を開催するなど、皆さんにとってより親しみやすい存在になれるよう、従来の「図書館」の枠を越え、その取り組みはさらに広がりをみせようとしています。

今回の特集では、ほんわ館を中心に行われているさまざまな取り組みについて紹介します。

今まであまり図書館を利用したことがない人も、一度も図書館へ入ったことのない人も、ほんわ館に足を運んでみませんか。

おすすめコーナーを活用しましょう

カウンター前に設置された「今月のおすすめコーナー」では、毎月テーマを決めて、おすすめの図書を展示しています。

ほんわ館に来てみたものの、何を读んだらいいかわからない。そんなときはこちらのコーナーをご覧ください。意外な発見があなたを待っているかもしれません。

もちろん、スタッフに相談していただいても構いません。



静かに本を読みたいときは

ほんわ館では、話すことを禁止していないため、適度なざわめきがあります。

人の話す声や物音が気になってしまう方は、一般書コーナー奥に扉で仕切られた「静読室」が設けられていますので、ぜひご利用ください。



中山町立図書館

ほんわ館 で

読みたい本を探してみましょう



ほんわ館の本は、1人5冊まで、2週間借りることができます。

本は、館内のパソコンで検索できるほか、ほんわ館の公式ホームページ（www.town.nakayama.yamagata.jp/honwakan/）からも調べることができます。



読みたい本が決まっているのに見つからないときは

目的の本が見つからない。そんなときはほんわ館スタッフへリクエストしてみてください。

ほんわ館に所蔵されていないときは、近隣の図書館や県立図書館、時には国会図書館からも取り寄せます。また、購入する場合もあります。

見つからないからといってあきらめずに、まずは、カウンターでスタッフに相談してみましょう。



子どもたちの健やかな成長・本のある豊かな暮らしを願って 本にふれあうきっかけをつくっています

高齢者×絵本 高齢者施設での読み聞かせ

絵本や紙芝居は、子どもだけのものではありません。子どもの頃に聞いていたお話を大人になってから聞くことで、子どもの頃のことが思い出されたり、脳が刺激されたりします。

ほんわ館では、なかなか図書館に出かける機会のない方も本にふれることができるよう、施設や事業所へ訪問して絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。



赤ちゃん×絵本 ブックスタート事業

「ブックスタート」は、11か月児健診に合わせ、赤ちゃんとその保護者に絵本を手渡す事業で、本との出会いと、親子であたたかなふれあいのひとときを過ごすきっかけづくりを目的としています。

また、保護者に向けても、乳児期からの読み聞かせの意義と楽しさを伝えられるよう取り組んでいます。



どなたでも参加できます ほんわ館おはなし会

毎月1回、季節やイベントなどに合わせた絵本や紙芝居を、ほんわ館のボランティア「ほんわ館ファン」の皆さんが読み聞かせしてくれます。

子どもから大人まで誰でも参加できますので、お気軽にご参加ください。

期日：毎月第3土曜日 午前11時～

(変更になる場合もありますので、毎月1日発行の「ほんわ館だより」をご覧ください)



小学生×絵本 本プレゼント事業

「1年生への本プレゼント」は、長崎小・豊田小の新1年生を対象に、さまざまな種類の絵本の中から、児童たちが希望した1冊をプレゼントする事業です。

本の楽しさを知ってもらうことと、自主的に本を読む習慣づくりを目的としています。合わせて、ほんわ館の利用者カードを配付し、ほんわ館の利用を促しています。

利用者 interview

石川織恵さん、^{こうき} 昊来くん、^{えな} 愛奈ちゃん親子(文新田)

ほんわ館は1～2週間に1度利用しています。読み聞かせもできるので、小さい子どもがいても安心して利用することができます。

また、ほどよい広さで、一般図書のところにも絵本コーナーが見渡せるので、目が届き、安心です。



利用者 interview

叶美和子さん、^{ゆきと} 幸仁くん親子(柳町)

ブックスタートに参加してみて、本の内容はまだ理解していないかもしれませんが、ページを目で追ったり、絵に反応したり、とても興味を持っているということが分かります。

これを機会に親子で本を読む時間を設け、本を通して、一緒に過ごす時間を大切にしたいと思います。



ほんわ館まつり

11月6日、「ほんわ館まつり」が開催されました。

くじ引きの要領で鍋から出たひもをひき、ひもに結び付けられた本を借りる「本の闇鍋」コーナーに訪れた庄司彩音さん（長崎小4年）・琴音さん（同小2年）、松田小英さん（同小3年）は、「自分ではなかなか選ばない本が出てきたので、家に帰ってゆっくり読みたい」と笑顔で話していました。

絵本作家 真珠まりこさんによる講演会「もったいないばあさんのおはなし会」では、真珠さん自ら自身の代表作「もったいないばあさん」シリーズの絵本の読み聞かせを行いました。



鍋の中から出てきた本を読む「本の闇鍋」



自身の作品を読み聞かせする真珠さん



絵本作家 真珠まりこさん(代表作:「もったいないばあさん」シリーズ)による講演会の様子

かせを行い、「もったいないは、感謝の気持ちと思いやり、敬う心です。『大事な食べ物、ありがとう』という気持ちで残さないように食べましょう」と話しました。
ほかに、絵本や紙芝居の読み聞かせや、破けてしまった本を修理するコーナーなども設けられ、内容に富んだイベントとなりました。

これまでご紹介したほんわ館のイベントなどをスタッフとともに支えているのが「ほんわ館ファン」の皆さんです。今回は、代表して高橋さんと石垣さんにお話をお聞きしました。

「ほんわ館ファン」は、ほんわ館のイベント・事業のサポートをするボランティア団体です。平成24年のほんわ館開館時から活動をはじめ、現在会員21名。年代も19歳から81歳まで幅広く参加しています。

活動で心がけていることは、まずは自分たちが楽しむこと。例えば、絵本の読み聞かせでは、自分たちが面白い、みんなにも知ってほしいと思う本を紹介しています。お話を聞きに来てくれた子どもたちの笑顔を見ると「私たちの『楽しい』をおすすめ分けてきた」と嬉



ほんわ館ファン

左：高橋穂子さん(梅ヶ枝町)

右：石垣奈美さん(南小路)

「本は心の栄養。本との出会いで広がる世界を知ってほしいです」

しい気持ちになります。

私たちにとって、本は心の栄養で、子どもとふれあうツールの一つだと思っています。本を通して共有する時間はかけがえのないもので、この時間を通して親子の絆を深めてほしいと思っています。

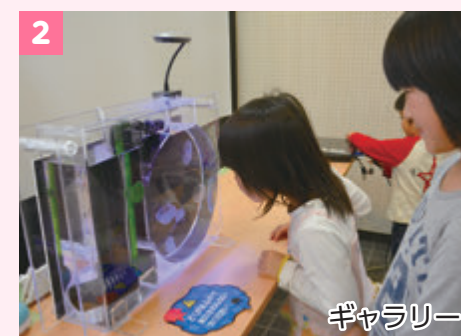
また、読書は子どもの頃から習慣づけられるのが望ましいですが、私たち自身、大人になってから絵本に出会って世界が広がり、心が豊かになったように感じます。読書を始めるのに年齢は関係ありません。

ほんわ館はとっても楽しいところです。図書館というだけで疎遠にならずに気軽に立ち寄っていただけのように、また本を通して心豊かな人生を送れるよう、今後もお手伝いをしていきたいと思っています。

ほかにも、こんなことに利用されています



多目的室



ギャラリー



研修室(2階)

- 1 多目的室では、イベントの時には読み聞かせやワークショップ等催し物が行われています。なお、普段は小さいお子さんが遊べるよう開放しており、授乳室も備えています。
- 2 玄関から入ってすぐのところにギャラリーが設置されており、絵や写真などが展示できます。昨年の「春の本フェス」では、加茂水族館からミズクラゲもやってきて、小さな水族館になりました。
- 3 2階には、読書会や文芸活動を行うことができる研修室を3室設けています。利用希望の方はスタッフにご相談ください。

スタッフからお願い

5冊。これは、紛失などで図書館に返ってこなかった本の年間の平均冊数です。また、稀ではありますが、ページが破けていたり、食べ物などで汚れた本が返ってくることもあります。

5冊という数字は、他の図書館に比べたら少ない方なのかもしれません。それでも、ほんわ館にある本のほとんどは、皆さんから納められた税金で購入したものです。その本が好きなでまた読みたいと思っている人、返ってくるのを待っている人もいます。

ほんわ館の本はたくさんの方が利用するものですから、このようなことがないよう気を付けていただきたいと思います。「みんなの本」ということをもう一度意識していただくことで、このようなトラブルはきつと無くなります。故意に汚したのではなくても、必ずスタッフに申し出てくださいますね。

私たちスタッフも皆さんが気持ちよく利用できるようにお手伝いをさせていただきますので、皆さんにもさらにマナーを守っていただいて、いつまでも皆さんに読んでいただける1冊にしていきたいです。

スタッフ一同お待ちしております

開館時間 10:00～19:00

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日休館）
（平成28年度年末年始休館は12月28日～1月3日です）

※お問い合わせ先

中山町立図書館ほんわ館 ☎662-6688

ホームページ

www.town.nakayama.yamagata.jp/honwakan/ こちらからも蔵書検索ができます。



「山形定住自立圏構想」による広域連携に取り組んでいます

「山形定住自立圏構想」とは、中心市と近隣市町村が、その都市機能とそれぞれの魅力を活用して相互に役割分担し、連携・協力することにより、生活に必要な機能の確保、圏域への人口定住を促進するものです。

町では、山形市、上山市、天童市、山辺町と連携して次の事業に取り組んでいます。また、生活に特に身近な2事業について紹介します。

政策分野	分類	連携する取り組み	連携する市町			
			上山	天童	山辺	中山
生活機能の強化	医療	休日及び夜間における診療体制の充実…①	○	○	○	○
	福祉	子育て支援センターの相互利用…②	○	○	○	○
		こども安全情報配信事業の拡大	○	○	○	○
	産業	産学連携交流会の拡大	○	○	○	○
		ナラ枯れ被害対策防除事業	○	○	○	○
	消防	消防事務の受委託	—	—	○	○
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	消費生活相談事業の拡大	—	○	○	○
		年金相談事業の拡大	○	○	○	○
	その他	地域公共交通ネットワークの構築	—	—	○	○
圏域のマネジメント能力の強化	市町職員の交流・研修	山形市市民活動支援センターの広域活用	—	○	○	○
		山形市男女共同参画センターの広域活用	○	○	○	○
	市町職員の交流・研修	職員研修の拡充	○	○	○	○

1 休日及び夜間における診療体制の充実

日曜や祝日、年末年始、夜間の急病の際、診療が受けられます。

山形市休日夜間診療所 (☎635-9955)

- 休日 (日曜・祝日・年末年始) 内科・外科・小児科
9:00~11:45/13:30~17:00
- 夜間 (毎日)
内科 19:00~23:00/小児科 19:30~22:30

山形市歯科医師会休日救急歯科診療所 (☎629-9988)

- 休日 (日曜・祝日・年末年始)
受付 10:00~12:00/13:30~15:30



2 子育て支援センターの相互利用

3市2町の子育て支援センターで、親子が安心して遊べるスペース、育児の相談・アドバイス、各種イベントなどが利用できます。

- 中山町 (1か所) 中山町子育て支援センター (なかやま保育園内)
- 山形市 (23か所) べにっこひろば子育て支援センター など
- 上山市 (2か所) 上山あい保育園/総合子どもセンター「めんごりあ」
- 天童市 (2か所) 子育て未来館「げんキッズ」/天童市わらべ館
- 山辺町 (5か所) 地域子育て支援センター (安達峰一郎保育所内) など



中山町は人口1万1700人ほどの小さな町です。

中山町の図書館「ほんわ館」は、他の図書館と比べると、決して広いとは言えなくて、本の数も少ないかもしれません。

しかし、ほんわ館には、来てくれた人が本に親しめるように、また、ぴったりの1冊に出会えるように、読書を楽しむサポートをしてくれるスタッフやボランティアの方がいます。

また、絵本を声に出して読みたい小さなお子さんから、静かに読書を楽しみたい方まで、みんなが楽しく過ごせる工夫を凝らしています。

季節は冬。「読書の秋」は過ぎてしまいましたが、本とふれあうにはますますぴったりの季節になりました。皆さんも、ほんわ館に本を探しに出かけませんか。

民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手です

「民生委員」・「児童委員」をご存知ですか。
「民生委員」は、厚生労働大臣から委嘱され、無報酬で地域の皆さんの社会福祉の増進に向けた活動を行っています。
併せて「児童委員」も兼ねており、子どもや子育てに関する相談・支援も行います。児童委員のうち2名は、「主任児童委員」として、学校などとも連携し、子どもに関する相談・支援を専門に行っています。
このページでは、地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員の活動などについて紹介します。

民生委員・児童委員は、具体的には次のような活動をしています。

■家庭訪問

担当地区内の高齢者世帯や障がいをお持ちの方がいる世帯などを訪問し、必要に応じて、生活状態を適切に把握するよう努めています。

■相談・情報提供

援助を必要とする人のために、生活に関する相談に応じ、助言などを行います。また、福祉・介護

などのサービスを希望する方に対し、情報を提供したり、関係する行政等の窓口を紹介したりします。

■町や福祉団体への協力

町や社会福祉協議会が提供する福祉サービスの利用を促すため、利用希望者の掘り起こしやとりまとめを行い、必要とする方へサービスが行きわたるよう手助けをしています。

■とても歴史のある制度です

民生委員制度は、大正6年に岡

山県で創設された「済世顧問制度」や、大正7年に大阪府で始まった「方面委員制度」が源流であると言われています。

これらの制度は、生活に困っている人などの相談役となり、正常な社会生活を営むことができるよう援助する「済世顧問」「方面委員」と言われる人を県知事が委嘱したものです。人々の生活の実態や、どんな要望があるのかを把握し、人々の生活水準を向上させることを目的に創設されました。

平成29年は、「済世顧問制度」が始まってからちょうど100周年を迎えます。

こんな悩み・気になることはありませんか

生活の不安
・家族は高齢者だけ。子どもは遠方にて何かあった時に不安
・生活費がない

福祉サービス・介護保険のこと
・何か利用できるサービスがないか知りたい
・どこに行って相談や手続きをしたら良いのかわからない

子育てのこと

・子育てがうまくいかない
・子どもが学校に行きたがらない
・子どもの進学費がない

近所のこと

・最近、○○さんを見かけないの心配
・○○さんの家から毎日怒鳴り声や子どもの泣き声が聞こえる

困ったことがあったら相談を

民生委員・児童委員は、皆さんの身近な相談役として、また、地域と行政機関をつなぐパイプ役としての役割を果たします。福祉、介護、子育て、生活などに関する悩みごと、心配ごとがあったら、お住まいの地区を担当している民生委員・児童委員にご相談ください。守秘義務があるため、相談についての秘密は守られます。

各地区の民生委員・児童委員を紹介します

12月1日付けで民生委員・児童委員が改選され、次の方々が委嘱されました。任期は、平成31年11月30日までの3年間です。

氏名	担当地区
須貝 美千子	達磨寺1・2
亀井 孝夫	達磨寺3・4、向新田
横山 洋子	新田町1・2・3
岡 隆二	上町、新町、元町
小野 正人	中町、柳町、中原団地、広瀬団地
高橋 正	旭町1・2
小野 澄子	川端、下川
古城 二三雄	桜町1
結城 悦子	桜町2
山本 恒美	北小路、西小路
齊藤 はつ子	梅ヶ枝町1・2・5
志田 健	梅ヶ枝町3・4・6
松木 實枝子	西町、南小路
秋葉 秀明	三軒屋、落合
服部 忠	文新田1・2
佐藤 英明	いずみ1・2
荒木 富夫	あおば1・2
増川 喜久彌	あおば1・3
森谷 美代子	金沢2・3
鈴木 信也	金沢1・4・5
鎌上 勝則	柳沢1・2・6
西塔 貴栄子	柳沢3・4・5
穂積 秀一	土橋1・3・4
佐東 とし子	土橋2・5・6
井上 和美	岡1・2・5
工藤 絹子	岡3・4
佐藤 和夫	小塩1・2・3
石川 園子	主任児童委員
浦山 時子	主任児童委員

弘化3年（1846）の米沢藩医の門生譜（生徒名簿）に「最上生 柏倉亮達」の名前が見られます。

柏倉亮達は、岡村の柏倉九左衛門家文書において、嘉永3年（1850）柏倉喜惣治家分家と記録されており、弘化5年（1848）の岡村人別宗旨改帳には、次のように記録されています。

家主杏庵（亮達）24歳、女房えい22歳、弟猶治20歳、父栄七51歳、母けん36歳、下女志ま21歳とあって、父栄七は、漢方医と伝えられ、杏庵はこの年に医業を修め帰村したと考えられます。

明治16年（1883）9月、岡村、土橋村をはじめ近村に傷寒（腸チフス）が流行したとき、医柏倉杏庵の名で診断書を作成していることから明治中期には岡村で開業していることがわかります。

このほかに、岡千手観音参道右側に産科医柏倉初女の石碑が建立されていますが、初女は、本名は「はつ」で、明治14年（1881）6月30日に提出された「産婆医術営業届」には、東村山郡岡村二七番地、医柏倉文達母の肩書きがあります。

柏倉はつは、この届書によると52歳8か月とあることから、文政11年の生まれで、長崎村の医師青木長伯文栄塾で学んだ女性となっています。

ここで医学を修めたかどうか、詳しい記録はありませんが、読み書きのほかに分娩・育児に係わる指導を受けたと考えられます。

後に、長崎村の昌常院に嫁いだ娘・てる（安政2年生まれ）も母と同じく産婆となり、幕末から明治時代にかけて多くの命の誕生に係わりました。

※引用 中山町史 中巻

第9章第4節 疫病の流行

子育て支援センターに行ってみよう！

子育て支援センターってどんなところ？

「子育て支援センター」は、なかやま保育園にある子育て支援拠点です。保育園内の一室を開放し、子育て中の方の育児相談や子育て関連の楽しいイベントを行い、お子さんと保護者の方同士が交流するきっかけづくりをしています。

誰でも利用できるの？

赤ちゃんから未就学児まで、子育て世代の方ならどんなでも利用できます。お気軽にお立ち寄りください。

イベント等への参加は予約が必要な場合もありますので、お問い合わせください。

子育て支援センターのイベント情報はお知らせ版（毎月1日発行）と一緒に配布される「まちのカレンダー」や子育て支援センターホームページ「元気にso-date」（<http://www.sodate-nakayama.jp>）でご確認ください。

※お問い合わせ先

子育て支援センター ☎662-2510



子育て支援センターでは、クリスマス会など季節に合わせたもののほか、子育てに役立つイベントも随時行っています。

11月4日には、「子ども服リサイクル」が行われました。これは、年4回、季節の変わり目に行っているもので、不要になった子ども服を互いに持ち寄り、自由に選び、持ち帰ることができます。

参加した方からは、「子どもが大きくなって着られなくなった服を誰かに使ってもらうことができ、また、必要なものは無料でいただくことができるので助かっています」と大変好評でした。



落合地区は、町東部に位置し、天童市と隣接している人口173人（49世帯）の地域です。（平成28年11月末現在）



第20回大会の記念撮影



プレーの様子

10月2日、落合地区で交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。この大会は、世代を越えた地区住民同士の交流と地区の活性化を目的に毎年開催されているもので、第20回の節目を迎えた今年は、佐藤町長と齋藤町議会議長を来賓として迎え、子どもから高齢者まで63名が参加。秋晴れの空の下、汗を流して交流を深めました。

この大会は、第10回大会までは長男会（落合地区の長男で組織される団体）の主催で行っていましたが、その後、合龍会（落合地区の青年有志で組織される団体。平成16年に発足し、現在会員13名が引き継ぎ、企画・運営を行っています）が引き継ぎ、企画・運営を行っています。



子どもたちも参加した桜の植樹の様子（平成16年、三落公園にて）

大会会場は落合橋の下の川原。町のグラウンドゴルフ場を使用せず地域の中に会場を設定したのは、「参加者に地域で思い出をつくって、地域への愛着を育んでもらいたい」との思いからだそうです。

合龍会では、大会会場の整備のため、年に3回ほど会場の草刈りを行っているほか、会発足時に植樹した桜の消毒や公園の草刈作業などを行い、地域の景観維持と活性化の一端を担っています。合龍会の鈴木光則会長は、今後の取り組みについて「これからも仲間同士で知恵を出し合い、地域活性化のため力を合わせていきたいと思っています」と話していました。

中山町の米『つや姫』と水を使用した地酒

ひまわり娘ご予約承ります。

・純米生酒 ・純米酒 ・純米大吟醸
・純米にごり酒
・純米しぼりたて生原酒 数量限定販売
（12月下旬、大吟醸は1月上旬 販売予定）

冬季営業時間 12月1日～2月末日迄
朝9時～午後6時迄

中山町情報・物産館 ☎023-674-0575

12月28日 暮の市 まるっと前で開催

入浴営業時間 1月2日～2月末日
早朝6時30分から営業いたします

●12月26日の風呂の日は！
大広間イベント午後1時～
秀菊会 民謡・民舞・歌謡ショー 入浴のお客様 入場無料！

12月の休館日：12月19日（月）

ゆ・ら

ゆ・ら・ら 会員募集中！
QRコードからアクセス！

株式会社 中山町振興公社 ☎023-662-5780

知事と語ろう市町村ミーティングin中山



12月5日、中央公民館で「知事と語ろう市町村ミーティングin中山」が開催されました。

市町村ミーティングは、吉村美栄子県知事が各市町村を訪問し、直接住民と県政についての意見交換を行うもので、中山町では平成22年以来6年ぶりの開催となりました。

この日は、知事に直接質問・意見交換のできる貴重な機会とあって、約220名が参加。参加者からは子育て支援の充実や産業振興に関することなど、9つの質問がなされ、知事はこれらに対して一つ一つ丁寧に回答していました。また、町商工会青年部のキャラクター「すもものしずくちゃん」のほか、県のPRキャラクター「きてろくん」、「もっけだのん」も応援にかけつけ、会場を沸かせていました。

活動の成果一堂に 芸文祭

11月3日から6日の4日間、中央公民館を会場に「第48回 中山町芸文祭」が盛大に開催され、多くの来場者でにぎわいました。

芸文祭は町芸術文化協会が主催しており、町内で生涯学習に関する取り組みを行っているサークルや団体の日頃の活動の成果を発表する場として、毎年開催しています。

11月3日に行われた合同発表会では、7団体が倭舞や詩吟、舞踊など、1年間の活動の成果を披露しました。ステージ上では、次々に踊りや演奏などが繰り広げられ、観客からは盛んな拍手が送られていました。

また、別室では生け花や書道、短歌などの作品展示コーナーや、お茶席も設けられ、会場を訪れた人は各コーナーを回り、思い思いに芸術・文化に触れていました。



お茶席（茶道 裏千家伊賀社中）



合同発表会（新舞踊 はなぞの竹志乃会）

名古屋市で中山町産ラ・フランスをPR



トップセールスを行う佐藤町長

11月3日、愛知県名古屋市の大型ショッピングセンター「シャムピアポート」で、佐藤町長が中山町産ラ・フランスのトップセールスを行いました。これは、中山町から遠く離れた中京圏の消費者に町内産ラ・フランスのおいしさを広くPRし、今後の消費拡大を図ることを目的としたものです。

試食販売を行ったところ、販売ブースの前には多くの買い物客が集まり、試食した方からは「柔らかく、甘くておいしい」と大変好評でした。この日は約200個のラ・フランスを販売。町では、関係団体等と協力して今後もこういった活動を実施し、中山町産ラ・フランスのブランド確立に取り組んでいきます。

澁谷^{さとし}哲さん 黄綬褒章を受章



澁谷 哲さん

澁谷哲さん（旭町）が建設業の振興、行政との災害協定の締結推進に尽力・貢献したとして、黄綬褒章を受章しました。

澁谷さんは、山形市内で建設会社を営む傍ら、平成19年から山形県建設業協会山形支部長を務めています。この間、行政との災害協定の締結推進のほか、「建設業は必要な産業にもかかわらずなり手がいない。若い人を育てないといけない」という思いから、担い手育成や建設業の振興にも尽力。平成23年3月に発生した東日本大震災では、甚大な被害のあった宮城県南三陸町にいち早く駆け付け、国道45号等主要道路のがれき処理を行い通行可能な状態にし、物資運搬や救助活動を建設面から支援しました。

また、交通事故防止活動に40年近く携わり、山形地区安全運転管理者協議会の会長を2期4年務め、現在も顧問として事故防止活動に力を入れています。

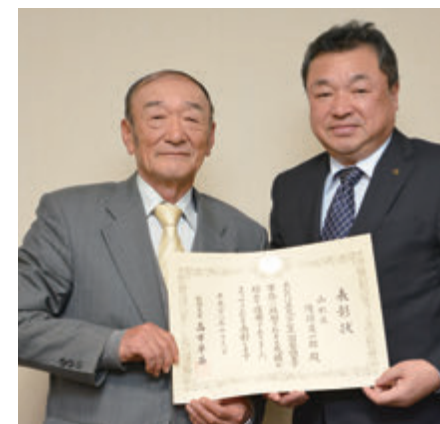
この度の受章について澁谷さんは、「社員、地域の方、仲間、家族など多くの人の理解と支えがあった活動。このような章をいただいたことに感謝し、ますます精進したい」と話してくださいました。

渡邊英一郎さんが総務大臣表彰受賞

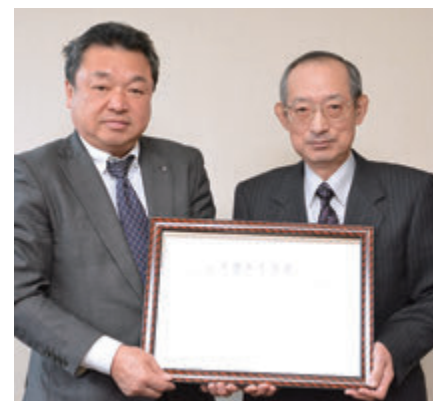
渡邊英一郎さん（小塩）に、総務大臣より表彰状が贈呈されました。

渡邊さんは、昭和53年から町の統計調査員として国勢調査、農林業センサスをはじめ多くの調査活動に従事され、現在もご活躍されています。また、平成19年からは町統計調査員協議会の副会長を務められ、協議会の円滑な活動に尽力しています。

特に、平成27年の国勢調査では、調査世帯に複数回足を運び誠実に対応され、より正確な調査結果を得ることに尽力されました。この度の受賞について渡邊さんは、「調査結果を将来の日本の発展のために役立ててほしいという気持ちでこれまでやってきました。これからも社会貢献に励みたい」と意気込みを語ってくださいました。



原富士雄さん 商工団体功労賞を受賞



11月14日、佐藤町長に受賞の報告をしました

原富士雄さん（元町）が平成28年度山形県商工観光功労者表彰において、商工団体功労賞を受賞しました。

原さんは、昭和60年から20年以上中山町商工会理事を務め、この間、町内外からの集客を図るため、大型スーパーと地元商店との共同店舗という新たな店舗展開を目指し、中心となって尽力され、ショッピングプラザ・ライズの開店を実現しました。平成19年に同会会長に就任してからは、会員増などの基盤強化に大きく寄与したほか、地元消費の拡大を図るため、平成26年度に総額7,700万円の商品券を発行し、商業活動の活性化に貢献されました。

また、平成19年に中山町観光協会会長に就任し、観光資源の開発、施設の整備に尽力されました。平成26年度には観光パンフレット「まるっとなかやま」を編集発行し、町内外での情報提供の推進を行い、観光振興に大きく寄与されました。

原さんは、「この度の受賞は商工会の会員の皆様はじめ周囲の皆様のおかげ。今後は一町民として町の商工業の発展を見守りたい」と話していました。

寄附ありがとうございます ございます

中山中学校創立50周年記念事業実行委員会より、グランドピアノ1台、体育館用スクリーン1台、ピアノノキヤスター2台分を寄附していただきました。

これらは、中山中学校の環境整備、生徒の健全育成に役立てられます。



山形農業協同組合より「道路の安全確保に役立ててほしい」とカーブミラー4基を寄附していただきました。寄附は山形農業協同組合が行っている交通安全啓蒙運動の一環として昭和48年から行っているもので、これまで寄附していただいたカーブミラーは204基にもなりました。

これらは、各地区からの要望を踏まえて町内各所に設置し、安全安心なまちづくりに活用させていただきます。



まちの人口

(11月末現在)

人口 **11,620人** (前月比-29人)
(男5,667人、女5,953人)

世帯数 **3,645世帯** (前月比-4世帯)

人の動き (11月届出分) 出生4人 転入19人
死亡21人 転出31人

まるでかぼちゃ！6つ子の柿を発見



柿を発見した
秋葉勝夫さん(三軒屋)



秋葉勝夫さん(三軒屋)の畑で、普通のものの2倍ほどの大きさもある6つ子の柿が収穫されました。

この柿は、次郎柿という品種で、秋葉さんが畑で収穫作業を行っていたところ発見したとのこと。

「これまで双子の柿を発見したことはあるが、こんなに大きな柿は初めて見た。大変珍しいので、しばらく飾っておきたいと思う」と話していました。

12月26日はご家族そろって 「山形ふるさとCM大賞」をご覧ください

今年も「山形ふるさとCM大賞」(山形テレビ主催)が放送されます。

同番組は、県内の市町村がそれぞれ15秒のCM作品を制作して地域の魅力をPRするもので、中山町も毎年参加しています。

番組は、12月26日(月)午後7時よりYTS(山形テレビ)で放送されます。ぜひご家族そろってご覧ください。

昔ながらの脱穀に挑戦(長崎小5年)



今回使用した足踏式脱穀機

10月31日、長崎小学校5年生の児童が、学校近くの田んぼで、お米を稲から離す「脱穀」作業を体験しました。

これは総合学習の一環で行っているもので、町内の若手農家グループ「石ころ会」(石沢遼会長)の皆さんの協力・指導の下、6月の田植えから始まり、米づくりに関する一連の体験を行ってきました。

この日は、昔ながらの「足踏式脱穀機」を使っての作業に挑

戦。慣れない作業に戸惑っている様子でしたが、服部楓菜さん(達磨寺)と石橋唯愛さん(あおば)は、「社会の教科書で見たことはあったけれど、実際に使うのは初めて。巻き込まれそうで少し怖かったけれどいい経験ができた。収穫したお米を食べるのが楽しみ」と笑顔で話していました。



冬期間の火災・災害に備えて



冬期間は、暖房器具などで火を取り扱う機会が多くなり、火災が発生しやすい季節になります。もしもの事態に備え、町内にいる消防団員が少なくなる日中の消防力の低下を補うため、今シーズンも12月1日から3月10日までの期間、冬期日中常備消防隊を設置し、隊員が交代で勤務します(日曜日と1月1日から3日を除く)。

これに安心せず、一人ひとりが暖房器具の取り扱いや火の始末に十分に注意し、火災を起こさないように気を付けましょう。また、消火栓付近の雪かきを行うなど、消防水利の確保にご協力をお願いします。



No.1271

●町からのお知らせ●

小型除雪機の
貸し出しについて

※お問い合わせ先

健康福祉課福祉子育て支援G

☎662・2673

高齢者や障がい者など、自力で除排雪ができない世帯や、生活道路等の除排雪作業を行うボランティア団体等に小型除雪機の貸し出しを行います。

●対象 町内会、消防団、ボランティア団体など（除雪機の操作経験者がいることが望ましい）

●貸出機械等 小型除雪機（ハンドガイド式）11・8馬力級、アルミ歩板一式

●貸出期間 1回の貸し出しは原則2日以内（休日中は休日前の夕方～休日明けの朝まで）

●費用 無料。ただし、燃料費、傷害

保険料および賠償保険料、除雪機の運搬経費は貸し出しを受ける団体等の負担となります。

●貸出条件 除雪機を操作する人は、傷害保険および賠償保険に加入してください（社会福祉協議会のボランティア保険への加入が可能な場合は、加入手続きをお願いします）。

●申請方法 貸し出し希望日の平日2日前まで申請書を提出してください（申請書は健康福祉課にあります）。

◆除雪機の貸し出しおよび返却は平日の午前8時30分から午後5時15分までの時間帯でお願いします。

郵便等投票証明書の
発行について

※お問い合わせ先

町選挙管理委員会（総務課庶務G内）

☎662・2111

郵便等投票証明書とは、身体に重度の障がいのある選挙人が、自宅等から

郵便で不在者投票をしようとするときに必要な証明書です。証明書は7年有効で、その期間に国・県・町の実施する選挙に有効です（左記③に該当する方は、有効期間が介護保険被保険者に記載されている要介護認定の有効期間の末日までとなります）。

証明書の発行を希望する方は、ご連絡ください。なお、この証明書は次の方々が交付申請できます。

①身体障害者手帳所持者で次のいずれかに該当する方 ▼両下肢、体幹、移動機能の障がいがある1級または2級の方 ▼内臓機能の障がいがある1級または3級の方 ▼免疫機能の障がいがある1級から3級までの方

②戦傷病者手帳所持者で次のいずれかに該当する方 ▼両下肢、体幹の障がいがある特別項症から第2項症までの方 ▼内臓機能の障がいがある特別項症から第3項症までの方

③介護保険被保険者で、要介護状態区分が要介護5の方

固定資産税「償却資産」
の申告書の送付について

※お問い合わせ先

住民税務課税務G

☎662・2112

償却資産の所有者には、毎年1月1日に所有する資産を、資産の所在する自治体に申告する義務があります。

町内に償却資産を所有している方および事業所などに、12月20日付で「償却資産申告書」を送付します。

同封の「申告の手引き」を参考に申告してください（申告が必要であるにもかかわらず申告書が届かない場合には、ご連絡ください）。

●受付期間 平成29年1月4日（水）～31日（火）

●受付場所 役場1階 住民税務課税務G（5番窓口）（郵送可）

障害者控除・おむつ代
医療費控除について

※お問い合わせ先

証明書・認定書交付のこと：健康福祉課介護支援G

☎662・2456

税の控除のこと：住民税務課税務G

☎662・2112

【おむつ代の医療費控除について】

確定申告等においておむつ代を医療費控除として申告する場合、**医師が発**

行する「おむつ使用証明書」とおむつ代の領収書の提出が必要です。

介護保険要介護認定者の2年目以降の申告では、医師が発行する「おむつ使用証明書」に代わり、要介護認定資料（主治医意見書等）で寝たきり状態等を確認して町が発行する「**おむつ代の医療費控除証明書**」を使用することができます。

「おむつ代の医療費控除証明書」が必要な方は、健康福祉課または役場総合窓口で発行の申請をしてください。

【障害者控除対象者認定書の交付について】

65歳以上の方で介護保険の要介護1以上の認定を受けている方は、身体障害者手帳の交付を受けていなくても、障がい者および特別障がい者に準ずる者として町が発行する「**障害者控除対象者認定書**」により所得税および町県民税の障害者控除および特別障害者控除を受けられる場合があります。

12月31日現在で要介護1以上の認定を受けている方は控除の対象となる場合がありますので、「障害者控除対象者認定書」が必要な方は健康福祉課または役場総合窓口で発行の申請をしてください（申請は12月中も可能ですが、平成28年12月31日現在の認定書は平成29年1月4日以降の交付になります）。

セルフメディケーション
税制の創設について

※お問い合わせ先

山形税務署

☎662・1611

住民税務課税務G

☎662・2112

健康の維持増進および疾病予防の一定の取組を行う個人が、平成29年1月1日～平成33年12月31日の間に、自己または自己と生計を一つにする配偶者その他親族に係る一定のスイッチOTC医薬品（もともと医療用に使われていた医薬品が、要指導医薬品または一般用医薬品として薬局等の店頭で販売されるようになった医薬品）を購入した場合、その購入額が1万2000円を超えるときは、超える部分の金額（上限8万8000円）について、所得控除を受けることができる「セルフメディケーション税制」という医療費控除の特例が創設されました。

●対象となる医薬品 厚生労働省のホームページで確認できます。また、対象となる医薬品のパッケージに識別マークが付けられます。

●対象者 対象となる医薬品の年間購入額が1万2000円を超えた方で、次の一定の取組を行った方。 ①特定健康診断 ②予防接種 ③定期健康診断 ④健康診査 ⑤がん検診

●従来の医療費控除との関係 従来の医療費控除は、自己または自己と生計を一つにする配偶者その他親族のために医療費を支払った場合に所得控除を受けることができる制度です。一般に目安とされる10万円は医療費控除を申告する方の所得が200万円以上の場合で、所得が200万円未満の場合は所得の5%を超えた分の医療費が医療費控除の対象になります。

※対象となるスイッチOTC医薬品購入費については、従来の医療費控除とセルフメディケーション税制の控除を同時に受けることはできません。1年間の医療費が所得の5%未満のため従来の医療費控除を受けられなかった方でも、対象となる医薬品の年間購入額が1万2000円を超えれば、セルフメディケーション税制の控除を受けられる場合があります。

●控除を受けるには セルフメディケーション税制の控除を受けるためには、従来の医療費控除と同様に所得税確定申告または住民税申告を行う必要があります。申告の際は次のものがが必要です。 ①対象となる医薬品の領収書（対象医薬品であることが明示されているもの） ②「一定の取組」を行ったことを明らかにする書類（健康診査の結果通知表等）

※控除の対象となるのは平成29年分所得税と平成30年度分住民税からです。

贈らない！求めない！受け取らない！

年末年始は何かと贈り物やお祝い事をする機会の多い季節です。

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状を出すこともできません。

また、有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されています。

※お問い合わせ先

町選挙管理委員会（総務課庶務G内）☎662-2111

今月の納税等

納期限 12月28日(水)

- 固定資産税 3期
- 国民健康保険税 6期
- 介護保険料 6期
- 後期高齢者医療保険料 6期

※税額に変更のある方に、12月15日に変更通知を送付しています。届いた方は内容をご確認ください。

※お問い合わせ先

住民税務課税務G ☎662・2112

有害鳥獣等の捕獲を
実施します

※お問い合わせ先

産業振興課産業振興G

☎662・2114

町内においてイノシシによる農作物等への被害が発生しているため、わなによる捕獲を実施します。設置箇所には標識を設置していますので、近付かないようご注意ください。

●期間 12月15日～平成29年1月31日

●場所 土橋地区(山間部)

●捕獲方法 わな(箱わな)

●捕獲従事者 山形県猟友会山形支部

中山分会ほか

狩猟期間がはじまっています

山形県における狩猟期間は次のとおりです。

●カモ類 平成29年1月31日まで

●イノシシ 平成29年3月31日まで

●その他 平成29年2月15日まで

◆狩猟者は、モラルを守って正しく狩猟を行ってください。作業等で山に入る方は、目立つ色の服を着用し、ラジオをかけて狩猟者に存在を知らせるなどご協力をお願いします。

※お問い合わせ先

村山総合支庁保健福祉環境部環境課

☎621-8426

募集・案内

脳力アップ教室

参加者募集

※お問い合わせ先

健康福祉課介護支援G

☎662・2456

元気な高齢者を対象にして「脳力アップ教室」を開催します。脳トレや軽体操を通じて脳力アップを図りましょう。また、認知症予防に関する講話や認知症についての正しい知識を学びます。

●期日 平成29年1月17日・24日・31日、2月7日・14日・21日・28日、3月7日(いずれも火曜日)※8回で1コースです。原則、全てに参加をお願いします。

●時間 午後1時30分～3時

●場所 中央公民館第1・2会議室(2階)

●内容 脳トレや軽体操、講話

●対象 町内在住の65歳以上の元気な高齢者(要支援、要介護認定を受けている方、医師から運動制限を受けている方は除きます)

●定員 20名(希望多数の場合、先着順とさせていただきます)

●指導者 (株)ニチイ学館健康運動指導士等

●参加費 無料

●持ち物 筆記用具、必要に応じて眼鏡、飲料水、タオルなど
●服装 動きやすい服、靴
●申込方法 申込書に必要事項を記入し12月15日(木)～27日(火)に健康福祉課または役場総合窓口へ提出してください(申込書は健康福祉課、役場総合窓口にあります)。
◆車での送迎は行っておりません。

女性まつりに

参加してみませんか

※お問い合わせ先

町女性団体連絡協議会事務局(教育課生涯学習G)

☎662・2235

女性まつりへの参加者を募集します。この機会に日頃の活動や手作り作品を披露、紹介してみませんか。

●日時 平成29年2月11日(土) 午前9時～午後3時

●会場 中央公民館

●対象 中山町在住または中山町を中心に活動している個人や団体で、

▼会場で踊りや演奏などを発表・披露 ▼生産物・加工品などを販売

▼フリーマーケットにて出店 ▼創作作品等を展示または販売 ▼体験コーナーでの指導などをしていただける方を募集します。

※準備から後片づけまでご協力ください。

●申込締切 12月22日(木)

県立博物館記念講演のご案内

中山町(川端)出身の故石沢慈鳥(健夫)氏が採集した「鳥類資料コレクション」についての講演が開催されます。

●日時 12月17日(土) 午後1時30分～

●場所 山形県立博物館講堂

●演題 「石沢慈鳥鳥類コレクションとは」

講師：奥山武夫氏

「父・祖父 石沢慈鳥の思い出」

講師：桶倉富士子氏、桶倉典哲氏

※お問い合わせ先

山形県立博物館 ☎645・1111

山形市男女共同参画センター
ファーストをご利用ください

※ご予約・お問い合わせ先

山形市男女共同参画センターファースト

☎645・8077

■女性人材養成講座ファースト大学公開講座「男女共同参画の実現に向けて」

●日時 平成29年1月10日(火) 午前10時～正午

●場所 山形市男女共同参画センターファースト5階視聴覚室

●講師 山形県男女共同参画センター館長 高木 直氏

◆電話で申し込んでください。

中山町職員を募集します

平成29年4月1日から行政事務等に従事する職員を募集します。中山町の将来像「ふれあいと絆 緑豊かな輝くふるさと なかやま」の実現を共に目指していく、明るく元気でチャレンジ精神旺盛な方のご応募をお待ちしています。

1. 試験区分、採用予定人数、受験資格

①年齢・資格要件

試験区分	採用予定人員	年齢要件等
初級行政	若干名	昭和62年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方。

②住所要件

採用後、特別な理由がある場合を除き中山町内に居住できる方

(注) 次のいずれかに該当する方は受験できません。

①日本の国籍を有しない方

②地方公務員法第16条に定める欠格事項に該当する方

③以前、中山町職員採用試験を受験し、内定等を辞退した方

④今年度、中山町職員採用試験を受験し、不合格となった方

2. 試験日、試験種目および試験会場

試験	試験日	試験種目	試験会場
第1次	平成29年1月22日(日)	教養試験および職場適応性検査	中山町役場
第2次	平成29年2月上中旬を予定	作文試験および面接試験	

(注) 最終合格者のほかに補欠合格者を決定する場合があります。補欠合格者は補欠合格者名簿に登録され、採用辞退等が生じた場合に成績順に採用されます。本試験の補欠合格者名簿は平成29年9月30日まで有効とします。

3. 受験手続き

(1) 受験申込書については、次のいずれかの方法により取得してください。

①中山町総務課庶務Gで直接受け取る。

②郵便による取得…封筒の表に『職員採用試験請求(試験区分初級行政)』と朱書きし、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角形2号封筒)を同封してください。

③ホームページからの取得…中山町役場ホームページ(URLは下記を参照)からダウンロードしたもののでも結構です。ただし、用紙は普通紙(A4サイズ)を使用してください。(※感熱紙は不可)

(2) 提出書類

①中山町職員採用試験受験申込書(2)(※受験者本人が自筆で記入してください。)

②受験票

③長形3号の封筒(受験票送付先を明記、82円切手貼付)

(3) 受験票の交付 受付終了後、申込みの要件を満たしている場合は受験票を郵送します。

4. 受験申込受付期間

12月15日(木)～平成29年1月11日(水)まで、中山町総務課で受け付けします(郵送の場合も平成29年1月11日必着)。受付時間は、午前8時30分～午後5時15分。なお、土曜日、日曜日、および12月29日～平成29年1月3日は受け付けしません。

5. 給与

平成29年4月現在の初任給の額は下記のとおりです。この金額は新規卒業者を例にとったもので、卒業後に職歴などがある場合、一定の基準に基づいてこの額に加算されます。

このほか、期末・勤勉手当、寒冷地手当、扶養手当、通勤手当、住居手当などが支給されます。

なお、採用されるまでに条例などの改正が行われた場合には、その定めによります。

高校卒程度 給料月額 147,900円

※お問い合わせ先

総務課庶務G(役場庁舎2階)

〒990-0492 中山町大字長崎120番地

☎662-2111 FAX 662-5176

URL: <http://www.town.nakayama.yamagata.jp>

Eメール: soumu@town.nakayama.yamagata.jp

社会福祉協議会から

※お問い合わせ先

社会福祉協議会(保健福祉センター内)

☎662・4361

〔鳥取県中部地震災害義援金〕

募集期間の延長について

口座振込のほか、町社会福祉協議会でも受け付けます。詳しくはお問い合わせください。

●募集期間 平成29年3月31日(金)まで

●義援金受入口座および口座名義人

▼山陰合同銀行湖山出張所(普通) 3607893、社会福祉法人鳥取

県共同募金会 会長 清水昭允

鳥取銀行湖山支店(普通) 0003

891、社会福祉法人鳥取県共同募

金会 会長 清水昭允

銀行 00950・6・33203

3、鳥取県共同募金会鳥取県中部地

震災害義援金 ※郵便局窓口での振

込手続きは、振込手数料が免除され

ます。

●現金書留による義援金の送付先

〒689・0201 鳥取県鳥取市

伏野1729・5 鳥取県立福祉人

材研修センター内 社会福祉法人鳥

取県共同募金会 ※現金書留用の封

筒に「救助用郵便」と明記してくだ

さい。郵便料金が免除されます。

●義援金に関するお問い合わせ先 社

会福祉法人鳥取県共同募金会(☎

0857・59・6350、メー

ルアドレス akaihane@rotori-wel-

or.jp)

〔心配ごと相談所を開設します〕

法律相談が心配ごと相談へ変更にな

ります。民生児童委員・人権擁護委員

が相談に応じます(電話での相談も可)。

●日時 12月21日(水)

午後1時30分～4時

●場所 保健福祉センター2階洋会議

室

中山町クリエイティ部

公開講座のご案内

町では、「中山町らしさ」を探しながら、その素材の新しい商品やサービスの開発に実践的に取り組み、自らのビジネスのスキルアップをしていく「中山町クリエイティ部」の活動の一環として、次の公開講座を開催します。ぜひ、ご聴講ください。

第1回：商品流通基礎講座

～素材が加工されて店頭で販売されるまで～

- 講師 合同会社エージェンツスタイル 代表 白石 展子氏
- 日時 12月27日(火) 午後5時～7時
- 会場 ひまわり温泉ゆ・ら・ら第1会議室

第2回：デザインシンキングとデザイン開発

～素材の力を消費者に気付いてもらうデザイン～

- 講師 株式会社コロン 萩原 尚季氏 (山形大学・東北芸術工科大学非常勤講師)
- 日時 平成29年1月14日(土) 午後2時～4時
- 会場 役場103会議室

●対象

- ①中山町内に住所を有する方または中山町内の事業所に勤務している方
- ②中山町クリエイティ部員および事務局員
- ③中山町内で起業・創業を検討している方

●受講方法

入場無料・申込不要。当日、直接会場へお越しください。

※お問い合わせ先

中山町クリエイティ部事務局 (中山町産業振興課) ☎662・2114

道路の除雪作業にご協力ください

町では、安全で円滑な道路交通を確保するため道路の除雪作業を行っています。除雪作業に対する要望が数多く寄せられますが、全てに対応することはできません。地域ぐるみの協力が必要となります。除雪作業を円滑に実施するため、次のような点について皆様のご理解とご協力をお願いします。

1. 間口の雪処理にご協力ください

除雪車が道路を除雪した後、かき分けられた雪が各家庭の間口に堆雪することがあります。限られた時間と除雪車での除雪作業となり、沿道一軒一軒の出入り口の確保や、各家庭に合わせた作業はできません。ご自宅の間口に残った雪は、各ご家庭やご近所で協力し合い除雪をお願いします。

2. 路上駐車はやめましょう

路上駐車は、除雪の妨げとなるだけでなく緊急車両の通行の支障となりますので、絶対にしないでください。路上駐車されている道路は除雪を中断せざるを得ない場合もあります。地域でお互いに注意し、路上駐車をなくしましょう。

※山形警察署の指導により、発見し次第、警察に通報することとなっています。

3. 道路(車道や歩道)への雪出しはやめましょう

除雪後の道路に、各家庭や事業所の雪を押し出している光景が見受けられます。道路がでこばこになり交通事故や交通障害の原因となり危険です。屋根の雪、宅地内の雪は道路に出さないでください。個人の宅地内の排雪を行う場合は、指定の雪捨て場へ搬入してください。

4. 屋根雪の道路への落雪は、交通障害を起こすだけでなく、人命に関わることがありますので、危険な場所については、落下防止策を講じたり、雪下ろしをしてください。

5. 国道・県道・町道の順に優先される除雪作業の原則から、生活道路等の除雪は遅れる場合もあります。また、除雪車の入れない狭い道路については町では除雪できません。地域ぐるみで対応してくださるよう、ご協力をお願いします。

6. 庭木の枝が積雪により道路にはみ出し、除雪作業の支障になる場合がありますので、はみ出すおそれのある枝は事前に伐採するか、縄等で固定するようにしてください。

7. 側溝に雪を捨てると、側溝が詰まり、水害が発生することがありますので、側溝に雪を捨てないでください。

8. 各地区に設定してある除雪路線ごとの雪押し場(空き地、農地等)の借地は、地元で所有者の方へ連絡などの対応をお願いします。

9. 除雪車による工作物等の破損が発生した場合には、直ちに町へ連絡していただきますようお願いいたします。

※お問い合わせ先 建設課建設整備G ☎662・2116

消費生活の窓口から

「お金が返ってくるのでATMに行くように」は怪しいと疑いましょう!

役場等の自治体や税務署、生命保険会社等の職員を名乗り、「医療費の還付金の手続きをする」、「税金の還付がある」などと言って、スーパーやコンビニなどのATMに誘導し、「今日中」、「1時間以内」などの期限で冷静に考える余裕を与えずに急がせてお金を振り込ませようとする還付金詐欺被害が11月に町内でも発生しました。

役場等の職員が、還付金の受取りのためにATMでの操作を行うように連絡することは絶対にありません。わざわざ金融機関以外のATMを指定して携帯電話を持っていくように誘導された場合は、怪しいと疑いましょう。還付金等について不審な電話があったら、警察や消費生活相談窓口に相談しましょう。

※ご相談・お問い合わせ先 中山町消費生活相談窓口(住民税務課住民G内) ☎662・2593



ひまわり温泉ゆ・ら・ら 営業時間変更のお知らせ



年末年始の営業時間は下記のとおりです。

	開館時間	閉館時間	受付終了時間
12月31日(土)	午前6時	午後8時	午後7時30分
1月1日(日)	深夜0時	午後9時	午後8時30分
1月2日(月)・3日(火)	午前6時30分	午後9時	午後8時30分

【1月・2月の入浴営業時間】

1月4日より営業時間が下記のとおり変更になります。

●開館時間 午前6時30分 ●閉館時間 午後10時(受付終了:午後9時)

※お問い合わせ先 ひまわり温泉ゆ・ら・ら ☎662・5777

保健カレンダー

※保健事業に関するお問い合わせ先

健康福祉課 健康づくりG ☎662-2836

事業名	日時	場所	対象者等
母子手帳交付	12/27 (火) 9:00~10:00 1/10 (火) 9:00~10:00	保健福祉センター	母子手帳を交付し健康相談を行います(この日時で妊婦さんご本人の都合がつかない場合はご連絡ください)。 ●持ち物 印かん、妊娠届出書、個人番号が確認できるもの(個人番号カード、通知カード等)と本人確認できるもの(個人番号カード、運転免許証等)
育児相談会(予約制)	12/27 (火) 10:30~11:30		育児全般について、保健師または管理栄養士が相談に応じます。前日まで電話でご連絡ください。
定期健康相談	12/27 (火) 10:30~11:30 1/10 (火) 10:30~11:30		生活習慣病予防・健康診査に関する相談を行います。
1歳6か月児健	1/11 (水) 受付時間 13:20~13:50	保健福祉センター 検診ホール	平成27年4月~6月生まれの子どもと前回欠席の子ども ●持ち物 母子手帳、問診票、交換用おむつ、バスタオル
食生活改善推進員養成講習会	1/12 (木) 9:00~14:00	保健福祉センター 2階会議室	各地区養成員の方 ●内 容 高齢者の低栄養を防ぐ食生活、食生活改善推進協議会について、修了式 ●持ち物 エプロン、三角巾、ファイル、テキスト、筆記用具、米80g ◆出欠の連絡を12月27日(火)まで健康福祉課健康づくりGへご連絡ください。

小児インフルエンザ予防接種の一部助成について

任意予防接種である小児インフルエンザ予防接種を希望する方を対象に、期間内に1回のみ助成します。

対 象 者：接種日において満1歳以上中学3年生までの方

自己負担：接種費用から助成額1,500円を差し引いた額

申込方法：生年月日および中山町民であることを確認できるもの(母子手帳、保険証など)をお持ちのうえ、保健福祉センターへお越しください。

申込・接種期間：平成29年1月31日(火)まで

※詳しくは10月1日号お知らせ版をご覧ください。健康福祉課健康づくりGへお問い合わせください。

飲酒運転はしない・させない・許さない

年末は、忘年会等で飲酒の機会が多くなります。

飲酒運転は重大な交通事故を起こすおそれが高く、極めて危険で悪質な行為です。

飲酒運転は絶対に「しない・させない・許さない」を徹底しましょう。

飲酒運転4(し)ない運動

- ①車を運転するときは酒を飲まない
- ②酒を飲んだら車を運転しない
- ③運転する人に酒を飲ませない
- ④酒飲み運転は見逃さない



飲酒運転
ダメ

●その他団体等のお知らせ●

- ①お問い合わせ先
- ②とき
- ③ところ
- ④内容
- ⑤対象・定員
- ⑥費用
- ⑦申込方法
- ⑧その他

【近隣市町耳より情報】

☆初市(山形市)

①山形商工会議所(☎622・4666) ②平成29年1月10日(火) ③十日町角~七日町ナ・ビーンズ角 ④縁起物の初詣や団子木などの多くの露店が立ち並ぶ江戸時代初期から続く伝統行事です。

☆初市(山辺町)

①山辺町商工会(☎664・5939) ②平成29年1月12日(木)午前9時30分~午後5時 ③駅前、本町、仲町通り ④縁起物の初詣、だんご木をはじめ、海産物などを売る店が軒を連ねる江戸時代から続く伝統的な催しです。

☆上山城元目登城(上市市)

①公益財団法人上山城郷土資料館(☎673・3660) ②平成29年1月1日(日・祝日) 午前7時~午後4時 ③上山城 ④先着300名にプレゼント進呈

ひまわり商品券 使用期限のお知らせ

使用期限は平成29年1月16日(月)です。期限後は使用できなくなりますので、お使い残しのないようお願いします。

●使用できるお店 「中山町商品券振興会加盟店」。
ノボリとポスターが目印です。

※お問い合わせ先

中山町商品券振興会事務局(中山町商工会)
☎662-2207

ながさき幼稚園からお知らせ

年間を通して未就園児を対象に楽しいお遊びをしています。ぜひ遊びに来てください。

☆ひよこの会

日時：12月17日(土) 午前10時30分~11時15分

場所：ながさき幼稚園遊戯室

内容：中山町読み聞かせの会「ほぐわあつ」による
パネルシアター、軍手シアター、絵本の読み聞かせなど

※お問い合わせ先

ながさき幼稚園 ☎662-2345

山形県選挙管理委員会から

立候補届出受け付けについて

平成29年1月22日執行予定の山形県知事選挙の立候補届出受け付けが次のとおり開催されます。

- 日時 平成29年1月5日(木)
午前8時30分~午後5時
- 場所 山形県庁講堂

※お問い合わせ先

山形県選挙管理委員会 ☎630-2081

【「生活応援ローン」のご紹介】

「生活応援ローン」は、中山町と労働金庫が協力し低利で融資する制度です。自動車購入・教育資金・医療費・冠婚葬祭費・借財返済等、生活資金全般にご利用いただけます。ただし、事業資金、投機目的資金、負債整理資金は除きます。

①東北労働金庫寒河江支店(☎0237・86・2210)、中山町産業振興課(☎662・2114)

⑤会社や商店に1年以上お勤めの方で、労働組合が無い、または職場に融資制度の無い方 ⑧融資額：

【ふるさと奨学ローンのご紹介】

地元を大切に考えた教育ローンです。ご子弟が卒業後、県内に就職・就業した場合はそれ以降の利子に対して、元金300万円を限度に教育基金協会から年2.0%の利子補給を受けることができます。

①教育基金協会(☎635・0101)、東北労働金庫寒河江支店(☎0237・86・2210)、中山町産業振興課(☎662・2114)

⑧用途：大学・短大・高校・専門学校等の学資金、住居・生活資金など／融資限度額：最高1000万円／融資金利：年2.30%~3.45%(固定金利、保証料を含む)

※平成29年3月末までにお申し込みを受け付けし、3月末まで実行するご融資が対象となります。／返済期間：最長10年(在学期間中は元金据置ができます)／保証：労働金庫指定の保証機関の保証が必要です。